

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を

求める意見書採択の請願書

犬山市議会
議長 堀江 正栄 様

2016年11月29日

請願者 2016愛知自治体キャラバン実行委員会

全日本年金者組合愛知県本部犬山支部
支部長

紹介議員

・岡村千早
・水野正光
・岡 寛

『請願趣旨』

私たち年金者組合は、高齢者が安心・安全で健康な生活ができることを願い、とりわけ、年金の充実を目指して運動を行っています。自治体キャラバンの参加団体でもあります。

政府・厚生労働省は、「マクロ経済スライド」の適用を今後30年間も続けて、毎年0.9%～1.1%程度の年金引き下げを見込み、そのうえ、この仕組みをデフレ経済下でも発動できるように法改正を検討しています。

年金の実質低下は、高齢者・年金生活者にとっては、食生活をも切り詰めざるを得ない深刻な状況をもたらし、憲法で保障された生存権さえ脅かしています。

年金は、そのほとんどが消費に回ります。年金額の低下による消費の落ち込みは、地域経済にも大きな影響を与えるでしょう。

年金削減は、高齢者だけの問題でなく、現在、非正規で働く若者や女性が2000万人にも増大しているため、国民年金の納付率が63%に低下し、若者にとっても深刻な問題です。

安定・安心の年金制度の確立にとって必要なことは、「最低保障年金制度」の確立と、非正規労働者の正規雇用化と最低賃金の大幅引き上げの実現で、現在と将来の生活に明るい見通しを示すことです。

よって、年金問題にかかわる下記の事項について意見書を採択されるよう請願いたします

『請願事項』

- 1、 年金の隔月支給を国際水準並みに毎月支給に改めること。
- 2、 年金を毎年下げ続ける「マクロ経済スライド」を廃止すること。
- 3、 全額国庫負担の「最低保障年金制度」を早期に実現すること。
- 4、 年金支給開始年齢はこれ以上引き上げないこと。

